

## 2023年度 ニチキッズ北上本通り保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月5日（金）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月8日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもが主体的に生活し、遊びを楽しめるような保育を大切に、全職員が子ども一人一人の気持ちを受け止め、気持ちを汲み取り、寄り添った関わりを大切にしてきた。
子どもの発達援助	0歳児は、環境設定の配慮については月齢や発達が異なるため、高月齢児を1、2歳児クラスと一緒に活動を行うなどの創意工夫をしたことで子どもの主体性を重視した保育環境を意識することができ、そこに沿った保育の実践が出来た。また、1、2歳児は、一人一人の発達に応じて、個別対応が必要と思われる時には、一対一での丁寧な対応をすることが出来た。活動内容としては今年度特に、知育玩具作成や感触遊びを重点的に遂行し、子の気付きや育ちにつながったと捉えている。
保護者に対する支援	日々の口頭やお便り帳での丁寧なやりとりを土台とし、信頼関係を構築できるよう努めた。また、動画配信ではありのままの子の姿や保育士の援助を拝見してもらい、保育に対する理解を深めて頂けたと感じる。
保育を支える組織的基盤	自社独自のマニュアルの読み合わせ、内容の把握をもとに、法令遵守の保育提供を行うことができた。特に今年は“子どもの最善の利益”を多方面から捉える時期となり、園内研修を通して学びあい、子どもの主体性を全職員が意識し、実践を行うことができた。

総評
コロナウイルスに限らず、様々な感染症が一年を通して猛威をふるっていたが、保護者のご協力のもと、また職員の“安心・安全な保育の提供”という意識のもと大きな事故や怪我等なく運営することができた。年度の途中で園児数が増え、対応していくことで地域や近隣社会のニーズに添えたと考えている。保育園運営の転換期を迎えている現在、今後も継続して“安心・安全な保育”“子どもの最善の利益を保障した保育”を意識し、運営に努めて行く。